

2022年 第1回 名大本番レベル模試
採点基準 英語

配点表				
大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	1	記述	15	60
	2	客観	3×2	
	3	記述	14	
	4	客観	3×4	
	5	記述	13	
II	1	記述	13	60
	2	客観	3×3	
	3	記述	5	
	4	客観	2×4	
	5	記述	12	
	6	記述	13	
III	1	客観	3×5	44
	2	客観	4	
	3	客観	4	
	4	客観	4×2	
	5	記述	13	
IV		記述		36
合計			200	

I

客観問題

2. 6点 (3×2)

解答 (あ) A (い) B

4. 12点 (3×4)

解答 (F) (D) (E) (H)

1. 15点

〈設問指示〉 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉 予告編から，その映画はかなり壮大で，紅海が分かれてイスラエル人たちを通し，エジプト人たちが追跡しようとする際に再びエジプト人たちへと崩れ落ちる典型的な場面において壮大さが極まるであろうということを，予め知ることができる。

【下線部】

From the trailer, you can already tell it is going to be pretty epic, and nowhere more so than in the typical scene in which the Red Sea* parts and allows the Israelites through — only to crash down again on the Egyptians as they try to pursue.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
From the trailer 予告編から	2点	•the の訳出の有無は不問。
you can already tell 予め知ることができる	2点	•can は「可能」の意味以外は不可。
it is going to be pretty epic, and nowhere more so than in the typical scene その映画はかなり壮大で… 典型的な場面において壮大さが極まるであろうということを	5点	•is going to を「である」と訳しても許容。 •nowhere more so が is going to be とつながっていることが分かっていないものは減点。 •so が epic のことだと分かっていないものは減点。 •nowhere ... than は，最上級・比較級のどちらの訳し方も可。「意味が通らない」場合は減点。
in which the Red Sea parts and allows the Israelites through — only to crash down again on the Egyptians as they try to pursue 紅海が分かれてイスラエル人たちを通し，エジプト人たちが追跡しようとする際に再びエジプト人たちへと崩れ落ちる	6点	•typical scene につながる節の一部と理解できていないと減点。 •parts を名詞と誤認したものは減点。 •allow O through の誤訳は一括(−2)
語句レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは一律各(−1) 構文誤読は各(−2)		

3. 14点

〈設問指示〉ドリュウズの説では、下線部②[the story of the parting of the Red Sea might have originated from a weather event in real life]は実際にはどのような仕組みで生じた現象であったと考えられているのかを、本文に即して60字以内の日本語で説明しなさい。数字や記号を記入する場合は、ひとつにつき1マスを使用すること。

〈解答例〉強風により水塊に水位が増す場所と水が引く場所が生じることで、人々を通ることができる乾いた場所ができたという現象。(56字)

【解答参考箇所】

involve some unusually powerful winds (異常なまでに強烈な風が伴う) // strong winds – a little over 60 miles per hour – create a “push” on coastal water which, in one location, creates a storm surge (時速60マイル強の強風が、ある所では高潮を引き起こす沿岸水の「押し上げ」を生じさせる) // But in another location the water moves away (しかし別の所では、水は引いていく)

●次の①～④の項目に相当する内容に得点を配分。

項目	配点	盛り込むべき内容
① strong winds または unusually powerful winds への言及 「強風により」	3点	・数値の説明の有無は不問。
② create a “push” on coastal water which, in one location, creates a storm surge への言及 「水塊に水位が増す場所が生じる」	5点	・create a “push” // on coastal water // in one location // creates a storm surge の欠如は、それぞれ減点。 ・“push”は「押し」「プッシュ」「圧」なども可。「」はなくても許容。
③ in another location the water moves away への言及 「水が引く場所が生じる」	4点	・in another location // the water moves away の欠如は、それぞれ減点。
④ 「(人が通ることができる) 乾いた土地の出現」への言及	2点	・「人が通ることができる」「乾いた(水が引いた)」はどちらかがあれば可。どちらの該当内容もない場合は減点。 ・「土地の出現」の該当内容が無い場合は減点。
<ul style="list-style-type: none"> ・語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各(－1) 構文の誤読は各(－2) ・解答の結び方は、明らかにおかしい場合は(－1) ・語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(－1) 		

5. 13点

〈設問指示〉 ドリュウズが下線部(3)[So if you want to find the sea of reeds, that's it.]のように述べた理由を 70 字以内の日本語で説明しなさい。数字や記号を記入する場合は、ひとつにつき 1 マスを使用すること。

〈解答例〉 原語での「葦の海」という表現と、タニス湖は葦が生育するのに適した汽水湖であることが合致し、また東ナイルデルタという位置にも矛盾がないから。(69 字)

【解答参考箇所】

the original phrase of the Hebrew translates as “Sea of Reeds” (ヘブライ語の元の表現は「葦の海」と訳され) // The lake “was a shallow brackish lagoon, and that was the ideal place for reeds to grow,” (その湖は「浅い汽水の潟であり、葦が成長するのに理想的な場所だったわけです」) // the north of the modern day Red Sea in the Eastern Nile Delta region, (現在の紅海の北方で東ナイルデルタ地域,) // the Lake of Tanis, which exists in the Eastern Nile Delta (実際には東ナイルデルタにあるタニス湖)

● 次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目	配点	盛り込むべき内容
① the original phrase of the Hebrew translates as “Sea of Reeds への言及 「原語での「葦の海」という表現」	4 点	<ul style="list-style-type: none"> ・「原語 (ヘブライ語) で」 「葦の海」 の欠如はそれぞれ減点。 ・ original phrase, Hebrew はどちらかがあれば可。 ・ Hebrew のカタカナ表記のミスは不問。言語名だと分かっていない場合 (人名など) は (-1) ・ 葦の海の表記に「 」 の有無は不問。
② The lake “was a shallow brackish lagoon, and that was the ideal place for reeds to grow への言及 「タニス湖は葦が生育するのに適した汽水湖であること」	7 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ lagoon はカタカナ表記も許容。「沼」でも可。 ・ 「葦」「生育に好適」 の欠如は、それぞれ減点。
③ タニス湖の位置についての言及 「東ナイルデルタという位置にも矛盾がない」	2 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①, ②, ③のいずれにも「タニス湖」が無い場合、ここで減点。 ・ 「位置的に矛盾がない」ことを述べていないと減点。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1)。構文誤読は各 (-2)。 ・ 解答の結び方は、明らかにおかしい場合は (-1) ・ 語数指示の無視は 0 点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき (-1) 		

II

2. 9点 (3×3)

解答 (C) (E) (A)

4. 8点 (2点×4)

[え] (B) [お] (F) [か] (H) [き] (C)

1. 13点

〈問題部分〉下線部(1)は、何がどのような点で異常なのだと述べているのか。本文に即して 35 字以内の日本語で説明しなさい。数字や記号を記入する場合は、ひとつにつき 1 マスを使用すること。
 〈解答例〉言語の死滅が歴史上類を見ない規模と速さで起きているという点。(30 字)

【解答参考箇所】 what is happening today is extraordinary, judged by the standards of the past.
 It is **language extinction on a massive scale. Of the 6,000 or so languages in the world about half are going to die out in the course of the present century:** 3,000 languages, in 1,200 months. That means, on average, **there is a language dying out somewhere in the world every two weeks or so.**

●次の①～④の項目に相当する内容に得点を配分。

項目	配点	盛り込むべき内容
① judged by the standards of the past への言及 「歴史上類を見ない」	2 点	<ul style="list-style-type: none"> ・過去との比較について述べられていないと減点。 ・下線部の extraordinary に対応し、強制的に述べられていないと減点。 ※但し、②か③で規模や速さを強調していれば、ここでの強調は不問。
② language extinction への言及 「言語の死滅」	4 点	<ul style="list-style-type: none"> ・「ある言語が消滅すること」などと S V 型に言い換えても可。
③ 「滅亡 <u>数</u> の多さ」への言及	4 点	<ul style="list-style-type: none"> ・scale はカタカナ表記許容。 ・massive は①で驚異的に述べられていれば、ここは反映させていなくても可。 ・「滅亡数の大きさ」として述べても可。 ・数値を活用して述べた際の誤りは、一カ所につき (-1)
④ every two weeks or so を利用した 「ペースの速さ」への言及	3 点	<ul style="list-style-type: none"> ・「2 週間に 1 つの割合で」などと数値で述べても可。
<ul style="list-style-type: none"> ・語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1)。構文誤読は各 (-2) ・解答の結び方は、明らかにおかしい場合は (-1) ・語数指示の無視は 0 点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(-1) 		

3. 5点

〈問題部分〉 下線部(2)をより具体的に言い換えた以下の文の空所に, 6~8 語の適切な英語を補いなさい。

A 1999 survey showed that 96% of the world's languages are spoken by just 4% of the world population. (2)No wonder so many are in danger.

〈解答例〉 It is not surprising that so many languages are facing extinction. [7 words]

- ① 「驚き」の該当部の欠如 ⇒ (-1)
- ② many に languages を補えていない ⇒ (-2)
- ③ in danger を extinction と結びつくように言い換えられていない。⇒ (-2)
*that 節を for ~ to do で表したのも可。

※上記以外の語学的ミスはすべて (-1) 単位で減点。

※語数無視は一律0点とする。

5. 12点

〈問題部分〉下線部(3)を日本語に訳しなさい。

〈解答例〉自分[私]の言語がもはや話されない[ていない]と考えると、自分自身の死の恐怖よりもさらに深い恐怖が私を襲う。なぜなら、それは私の同族すべてが集団で死ぬことなのだから。

【下線部】

When I think of my tongue being no longer alive in the mouths of men, a fear strikes me that is deeper than that of my own death, since it is the mass death of all my kind.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
When I think of my tongue being no longer alive in the mouths of men 自分[私]の言語がもはや話されない[ていない]と考えると	5点	<ul style="list-style-type: none"> ・my tongue が being 以下の「意味上の主語」と理解できていないものは減点。 ・alive in the mouths of men の不適切な直訳は一括して(-2) ・men を「男」として訳したものは減点。
a fear strikes me that is deeper than that of my own death, 自分自身の死の恐怖よりもさらに深い恐怖が私を襲う	5点	<ul style="list-style-type: none"> ・that 以下の同格節が fear にかかることが理解できていないものは減点。 ・代名詞 that[=the fear]を誤認しているものは減点。※文脈上「恐怖(恐れ)」のことだと分かれば、具体化しなくても可。
since it is the mass death of all my kind. なぜなら、それは私の同族すべてが集団で死ぬことなのだから	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・since は「理由」以外の解釈は不可 ・kind ※「同じ言語を話す人々」など説明的に述べても可。 ・訳文中での配置は、主節の前も可。
<p>語句レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1)。構文誤読は各 (-2)。</p>		

6. 13点

〈問題部分〉 下線部(4)のように筆者が述べた理由を、本文に即して 50 字以内の日本語で説明しなさい。数字や記号を記入する場合は、ひとつにつき 1 マスを使用すること。
 〈解答例〉 話し言葉が減びる場合、それが記録されなかったら、存在の痕跡を全く残さず消えていくから。(43 字)

【下線部】

(4) The death of a spoken language is like no other form of disappearance. When people die, they leave signs of their presence in the world in the form of their dwelling places, burial mounds, and artifacts. But spoken language leaves no archaeological remains. When a language dies which has never been recorded, it is as if it has never been (話し言葉が死ぬということは、他のいかなる形の消失とも異なる。人間が死ぬ場合、その人々は居住地や 埋葬塚や制作物といった形で、自分が世界に存在した印を残すものだ。しかし、話し言葉は考古学的遺物を残さない。全く記録されることのなかった言語が死ぬと、あたかもそれが全く存在したことがないかのようなのである。)

● 次の①～②の項目に相当する内容に得点を配分。

項目	配点	盛り込むべき内容
① 「話し言葉の死」の該当内容	4 点	・ spoken に言及せず、単に「言語」としたものは減点。
② 「記録されなかった」の該当内容	4 点	・ when の副詞節で訳しても、「記録されなかった話し言葉」のように関係詞的に訳しても可。
③ 「痕跡を残さない(で消え去る)」の該当内容	5 点	・ archaeological の有無は不問だが、誤訳は減点。 ・ remains に触れていないものは減点。
※ 「他のものの死」の例への言及は不問		言及して誤訳が認められる場合は③の枠から減点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (－1)。構文誤読は各 (－2)。 ・ 解答の結び方は、明らかにおかしい場合は (－1) ・ 語数指示の無視は 0 点。 		

Ⅲ

44 点

1. 3 点×5=15 点

(F) (C) (G) (A) (B)

2. 4 点

(C)

3. 4 点

(C)

4. 4 点×2

(C) (D) ※順不同

5. 13点

〈設問〉 According to John, global warming has led to the ice loss in Antarctica and sea-level rise. What do you think is another possible threat that global warming might bring to us? Write your answer in around 20–30 English words. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

〈解答例〉 I think global warming might lead to viral outbreaks because it might cause the ice of cold regions to melt and make unknown viruses come out. [26 words]

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
① 「自分の意見」として述べられているか	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・I think 型の提示の他に, ②で might, be likely to など「推測」として述べた場合も, ①として認める。 ・According to me など, 自分の意見を according to で述べたものは不可。
② 「意見の内容が適切か」	11点	<ul style="list-style-type: none"> ・possible threat that global warming might bring to us なので, 過去や現在完了で既に起きていることを断定的に述べた場合は減点。 ・予測を示すために, might 以外に will, can, must, be likely to などを使っていても可。 ・設問は another possible threat を求めているので, 「極地の氷の溶解」「海面水位の上昇」のみではいずれも解答と認めず, ②は0点となる。
③ その他の注意事項。		<ul style="list-style-type: none"> ・明らかに2つ以上の脅威を述べているものは, ②から減点とする。但し, 連続した因果関係 AB を and で述べている場合は許容。 ・常識的に考えられないようなことを理由を添えずに述べているものは, ②から減点とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・題意に全く合わないものは全配点を引く。 ・文法レベルの誤りとスペルミスは各 (−1) 構文ミスは各 (−2) ・語数を末尾に書いていない場合は(−3) 		

IV 36点 グラフは問題冊子を参照すること

〈問題指示〉 An experiment as follows was conducted in order to find out the relations between sleep and learning efficiency. **Examine the result and explain the possible relations between sleep and learning efficiency based on what you observe.** Write approximately 80–100 words. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

〈解答例〉 The result of the experiment shows that sleep has much to do with our learning efficiency. But the effects clearly depend on when we sleep. According to the graph, the highest increase of learning efficiency was seen among the students who slept only after learning. This suggests that sleeping after learning may help us organize what we have learned. But it does not follow that sleep always helps us increase our test scores very much. For example, sleeping both before and after learning was much less effective. The experiment shows that a proper sleep benefits our mental work. [98 words]

	具体事例
<p>Examine the result and explain the possible relations between sleep and learning efficiency based on what you observe</p> <p>睡眠と学習効率の関連として考えられることの説明</p>	<p>① 睡眠と学習効率の結びつきについて全く言及していない場合は (−36)</p> <p>② 睡眠と学習効率の結びつきについて、あまりに的外れなものは (−10) ⇒「睡眠中に記憶が整理される」「睡眠すると記憶が定着する」「睡眠中、余分な情報が脳に入らない」など、<u>学習とテストの間の睡眠</u>に合致するものが典型許容例。 ※ 断定的に述べても可。</p> <p>③ 必須情報以外で、誤った内容を述べた文があれば減点。</p>
<p>・ 文法レベルの誤りとスペルミスは各 (−1) 構文ミスは各 (−2)</p> <p>・ 同一語句のスペルミスと語法ミスは初出時のみ減点で、以降は指摘のみ。</p> <p>・ 設問文からの表現の借用は許容。</p> <p>・ 末尾に語数を記入していないものは (−3)</p>	